

令和5年度第1回厚木市セーフコミュニティ推進協議会会議次第

日時 令和5年7月14日（金）

午前10時から11時まで

場所 市役所本庁舎4階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 案 件

(1) 役員（副会長）の指名について …………… 資料1

(2) 令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュールについて …………… 資料2

(3) 外傷サーベイランス委員会からの報告 …………… 資料3・4

4 その他

5 閉 会

厚木市セーフコミュニティ推進協議会設置規程

(設置)

第1条 地域住民と行政等の協働によるセーフコミュニティの取組みを通じて、市民が安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、厚木市セーフコミュニティ推進協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) セーフコミュニティプランの実施計画策定に関すること。
- (2) 地域における取組みの推進及び評価に関すること。
- (3) その他安心・安全のまちづくりの推進に関すること。

(委員)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 安心・安全のための地域活動を行う団体の代表者又は構成員
- (2) 地域の安心・安全の確保に関し識見を有する者
- (3) 保健、福祉及び医療関係者
- (4) 教育関係者
- (5) 関係行政機関の職員
- (6) 市職員

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役職名をもって充てられた委員の任期は、その役職にある期間に限る。
- 3 補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、市長をもって充てる。
- 3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、必要に応じて会長が召集し、会長が議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、セーフコミュニティ主管課において行う。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規程は、平成20年6月13日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

役員（副会長）の指名について

厚木市セーフコミュニティ推進協議会設置規程 抜粋

(役員)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、市長をもって充てる。

3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(敬称略)

役職名	氏名
会長	山口 貴裕 【厚木市長】
副会長	笹生 正人 【厚木医師会 監事】
副会長	

令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュール

(2023年7月1日現在)

	2023年										2024年						
	令和5年度																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
厚木市 SC・ ISS関連				14 SC 推進協議会(第1回)	27 SC 推進委員会(第1回)	安全・健康・ コミュニティに 関する調 査実施			年間レ ポート提出		SC 推進委員会(第2回)		SC 推進委員会(第3回)				
対策委員 会等関連	4 市内中小企業 向け安全衛生 研修会	10 子どもの安全 対策委員会	18 職場(労働)の 安全対策委員 会	28 外傷サーベイ ランス委員会	29 交通安全対策 委員会	子どもの安全 対策委員会	自殺の予防 対策委員会	24 職場(労働)の 安全対策委員 会	外傷サーベ イランス委員 会	6 危険体感講 習	19 市内中小企業 向け安全衛生 研修会	16 自殺の予防 対策委員会	職場(労働)の 安全対策委員 会	外傷サーベ イランス委員 会	15 職場(労働)の 安全対策委員 会	自殺の予防 対策委員会	外傷サーベ イランス委員 会
他自治体 国際会議				20-21 亀岡市SC 現地審査	31 久留米市SC 現地審査	1 久留米市SC 現地審査	3-4 松原市SC 現地審査			15-17 十和田市SC 事前指導	9 久留米市SC 認証式典	21 亀岡市SC 認証式典					

※SC・・・セーフコミュニティ ISS・・・インターナショナルセーフスクール

厚木市総合計画

厚木市SC推進条例

SC推進委員会

条例の運用状況の点検など

市民・自治会・企業・各種団体など

愛の目運動・セーフティベストの着用運動・かけこみポイントの普及・防犯パトロール・挨拶運動・清掃活動 など

厚木市SC推進協議会

取組の方針・計画策定、推進、評価など

進行管理

情報提供

SC対策委員会

特定の分野における8つのプログラムを実施

- ①交通安全
- ②自転車生活の安全
- ③体感治安と公共の場における安全
- ④子どもの安全
- ⑤高齢者の安全
- ⑥自殺の予防
- ⑦職場の安全
- ⑧防災

情報提供

SC推進地区

地域の課題に対するプログラムの実施

- ・犯罪防止
- ・交通事故防止
- ・自転車事故の防止
- ・不審者警戒
- ・危険箇所チェックなど

分析・検証
結果報告

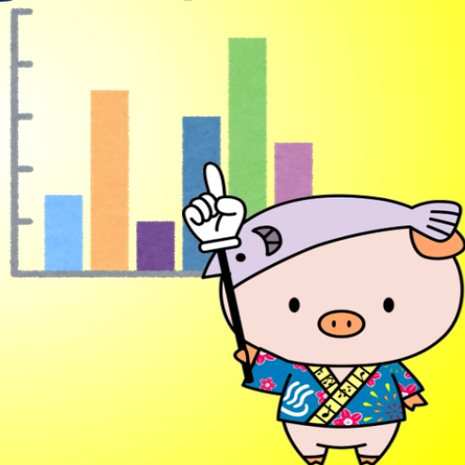
分析結果・改善指導

外傷サーベイランス委員会

データの収集・分析、専門的な評価・助言

情報提供

厚木市セーフコミュニティ 外傷サーベイランス委員会 活動を通して見えてきたもの



厚木市セーフコミュニティ
外傷サーベイランス委員会
委員長 **渡辺 良久**
(東海大学医学部 基盤診療学系
衛生学・公衆衛生学 客員准教授)

セーフコミュニティの認証基準

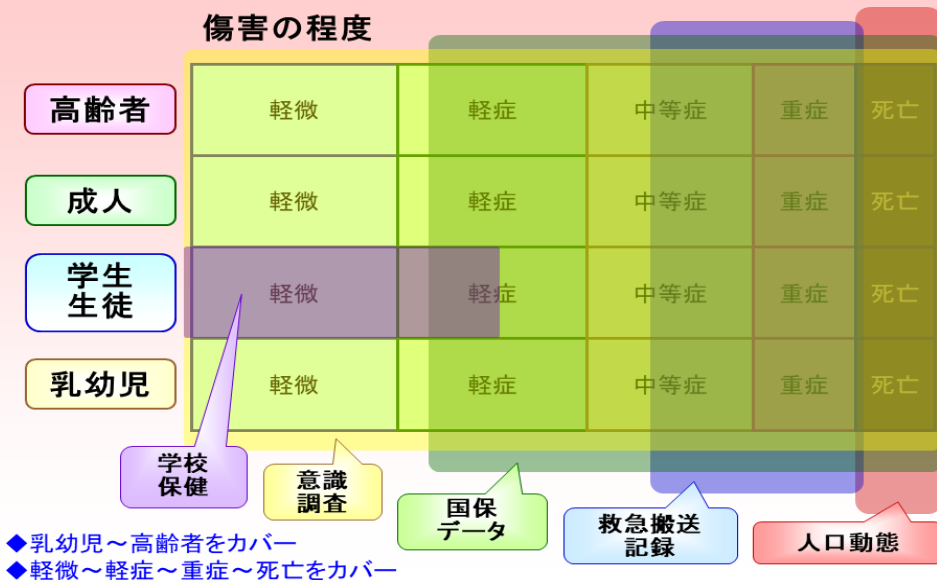
旧指標 (7つの指標)

1. (コミュニティ内部に) 分野横断的な組織によって運営される協働と連携に基づいた安全向上のための基盤
2. 両性、全年齢・環境・状況を網羅し長期的・持続的なプログラム
3. ハイリスクの集団や環境を対象とするとともに、弱者の安全向上のためのプログラム
4. (入手・活用) 可能な根拠 (エビデンス) に基づいたプログラム
5. 傷害の頻度と原因を記録するプログラム
6. プログラムの内容・過程および変化によってもたらされた効果を評価する手法
7. 国内外のセーフコミュニティネットワークへの継続的な参加

新指標 (6つの指標)

1. コミュニティの管理・統治 (ガバナンス) の仕組みに融合し、分野横断的な集団によって長期的・継続的な取組を進めている
2. **問題把握・リスクアセスメント・対策立案のため、傷害及びその原因に関するデータを収集し、安全診断等を実施する**
3. 傷害予防及び安全向上における最も効果的な方法や成功事例を基盤にしつつ、あらゆる性別・年齢・環境及び状況を対象に取組を進めている
4. 脆弱およびハイリスクにある集団及び環境を対象とした取組みがある
5. (取組みの) 行程、成果の評価及び継続的なプログラム・プロジェクトの改善のための方策に関する振り返り (その基準・方法)
6. 圏内外のSCネットワークへの継続的な参画

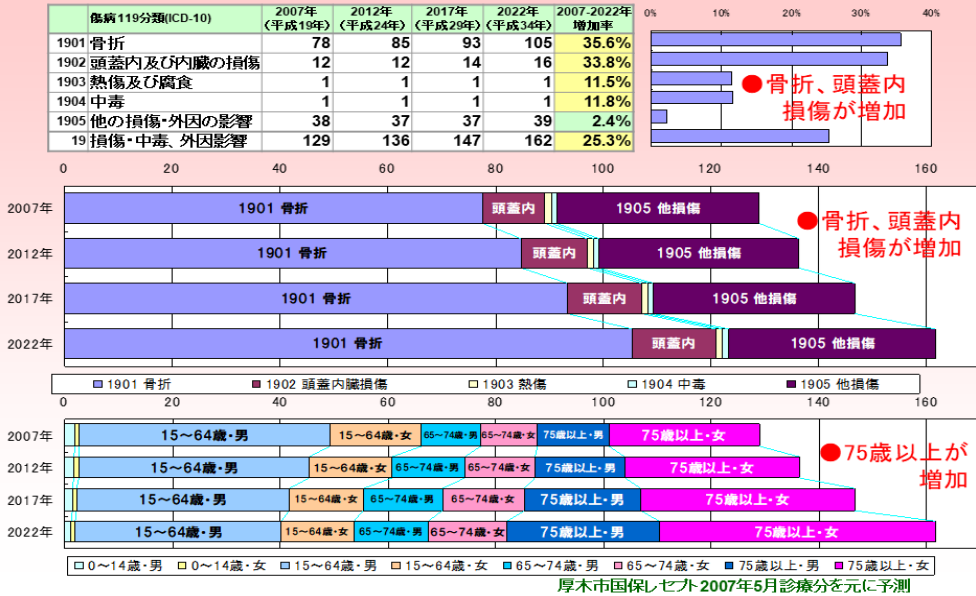
外傷サーベイランスの包括的データ把握



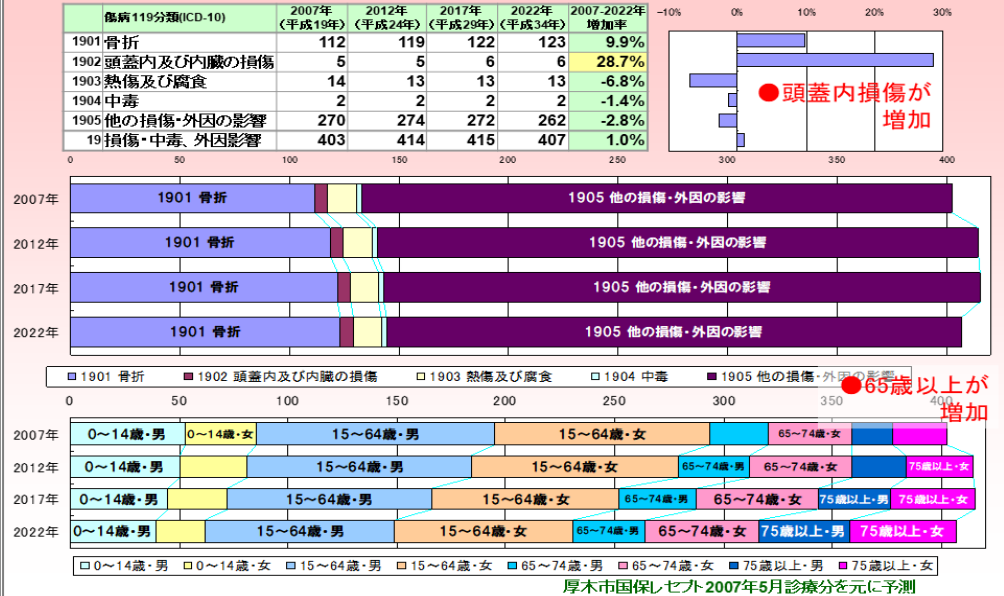
委員会活動経過

年	1) ICEC	2) 外傷の全体像把握検討				3) 学校保健記録様式検討	4) セルフモニタリング
	適用検討	国保レセプト分析	病院データ分析	市内医療機関データ分析	救急データ分析	その他	
2009					ICECI検討		
2010	認証	神奈川県国保					
2011						清水小学校	
2012			小諸SC				
2013							
2014				北本SC			
2015	再認証		試行調査	第1回調査			
2016		全国国保					
2017		KDB					
2018			毎年データ提供		毎年データ提供		
2019				第2回調査		睦合東中学校	
2020							
2021							
2022							
2023							

国保レセプトを基にした分析結果 (入院・損傷) ⁵

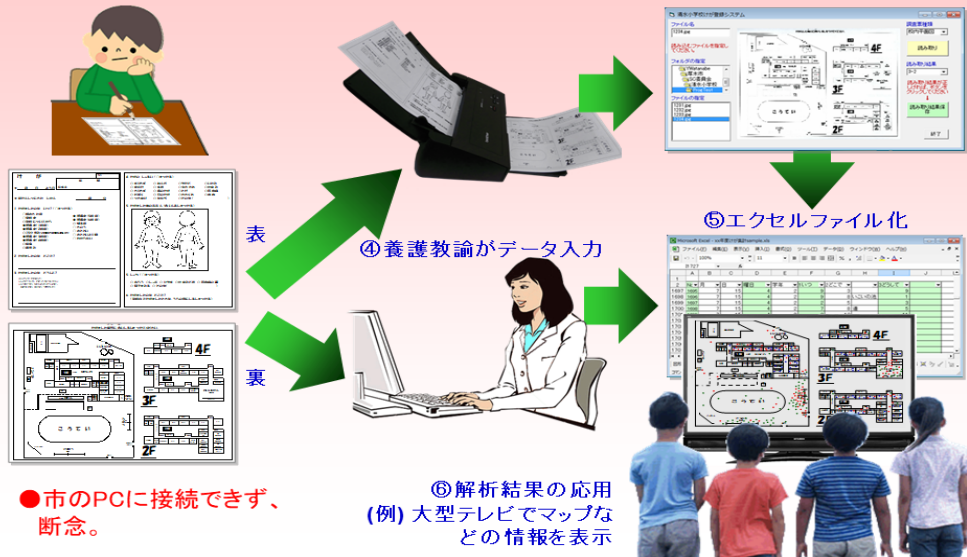


(外来・損傷) ⁶



学校保健外傷登録システム化検討 ⁷

- ① 児童が「けが登録票」に記入
- ② 両面スキャナで画像読み取り
- ③ プログラムで位置読み取り



各委員会が主要評価指標 (KPI) を設定 ⁸

セルフモニタリング

主要評価指標の設定 Key Performance Indicators 高齢者の安全対策委員会 運動器の機能向上による転倒予防事業②転倒骨折予防教室(介護予防事業)

評価軸	指標	データ源泉	評価基準	評価頻度
ストラクチャ指標	事業の周知	実施記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:殆どできなかった)	教室終了の都度
	事業の実施	実施記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:殆どできなかった)	教室終了の都度
プロセス指標	出席率	実施記録	出席率(参加延数÷(参加者数×回数))の割合を5段階評価(5:80%以上、4:70%以上、3:60%以上、2:50%以上、1:50%未満)	教室終了の都度
	満足度	アンケート	アンケート結果の満足度(◎以上の回答者の比率)を5段階評価(5:80%以上、4:60%以上、3:40%以上、2:20%以上、1:20%未満)	教室終了の都度
アウトプット指標	アクア転倒骨折予防教室実施回数	実施記録	実施回数を3段階評価(3:24回以上、2:12回以上、1:0回)	年1回(年度末)
	主観的健康感	基本チェックリスト	参加前と参加後における主観的健康感(「維持」または「改善」に回答した人の割合)を5段階評価(5:80%以上、4:60%以上、3:40%以上、2:20%以上、1:20%未満)	教室終了の都度
アウトカム指標	基本チェックリスト該当項目数	基本チェックリスト	参加前と参加後における基本チェックリストの該当項目数を比較し、「維持」または「改善」と判定された人の割合により5段階評価(5:80%以上、4:60%以上、3:40%以上、2:20%以上、1:20%未満)	教室終了の都度
	結果報告	実施報告書	体力測定5段階評価における維持・向上率が80%以上の項目を5段階評価(5:7項目、4:5項目、3:3項目、2:1項目、1:0項目)	教室終了の都度
アウトカム指標	教室参加者の年度末時点の要支援・要介護認定状況	実施報告書	参加実数に対する認定者の発生率が5段階評価(5:0%、4:1%未満、3:2%未満、2:3%未満、1:3%以上)	年1回(年度末)

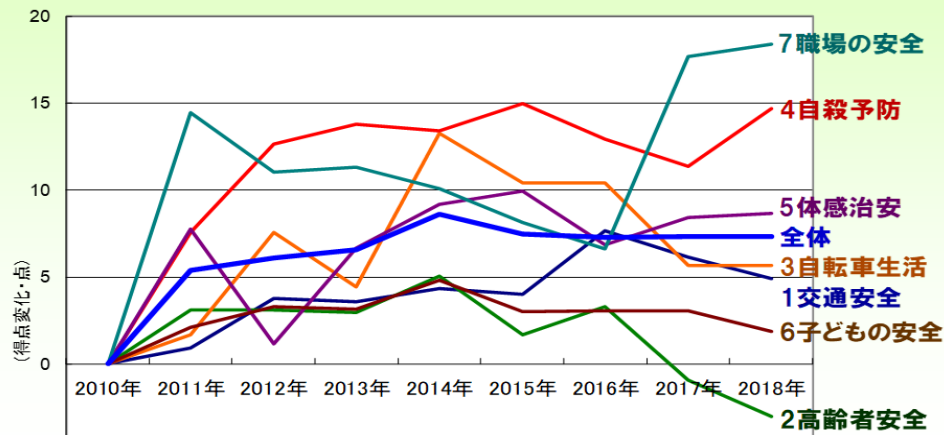
◆活動評価・改善の仕組みを構築

あまり向上していない委員会もある

9

セルフモニタリング 評価結果の改善傾向

図11

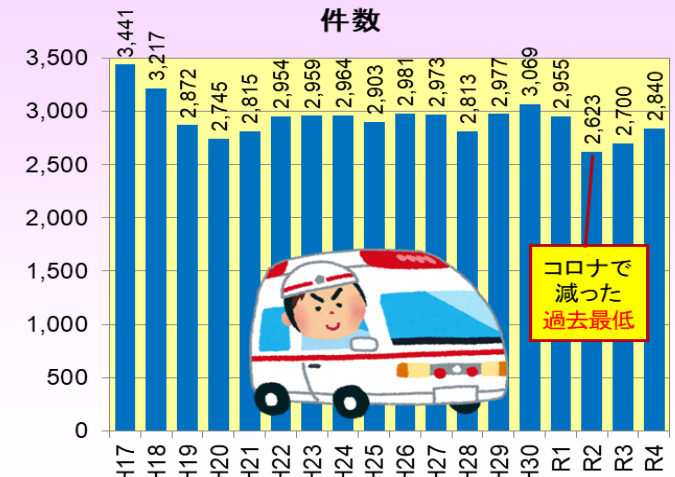


(厚木市SC対策委員会セルフモニタリング・2010～2018年)

救急データの蓄積により見えてきたもの 年別・外傷による延救急搬送数

10

年	件数
H17	3,441
H18	3,217
H19	2,872
H20	2,745
H21	2,815
H22	2,954
H23	2,959
H24	2,964
H25	2,903
H26	2,981
H27	2,973
H28	2,813
H29	2,977
H30	3,069
R1	2,955
R2	2,623
R3	2,700
R4	2,840
合計	52,801



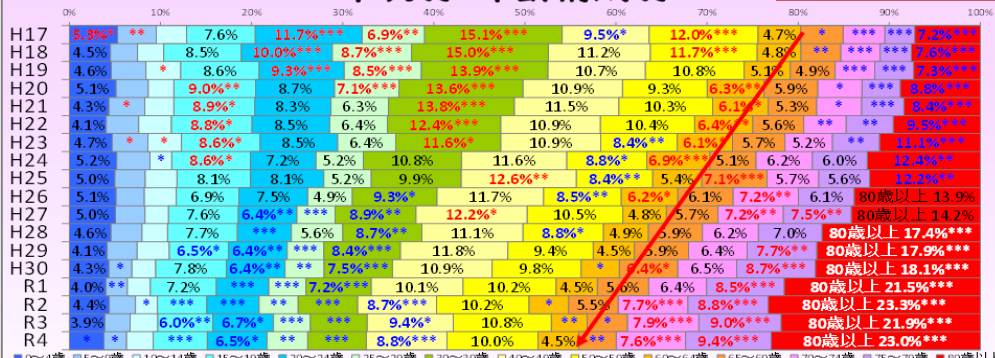
●毎年約3千件。

コロナで減った過去最低

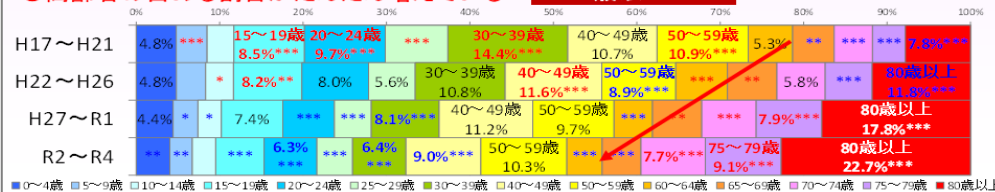
救急データの蓄積により見えてきたもの 年次別・年齢構成別

11

H17 65歳以上19.7%



●高齢者の占める割合がだんだん増えている R4 65歳以上44.1%

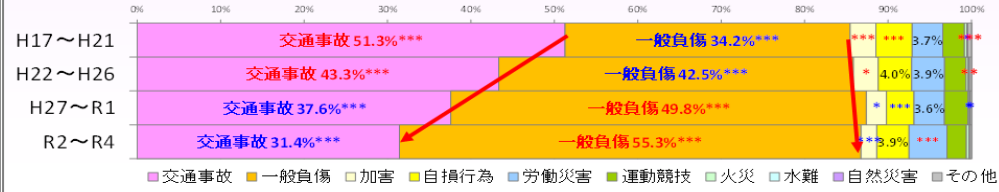


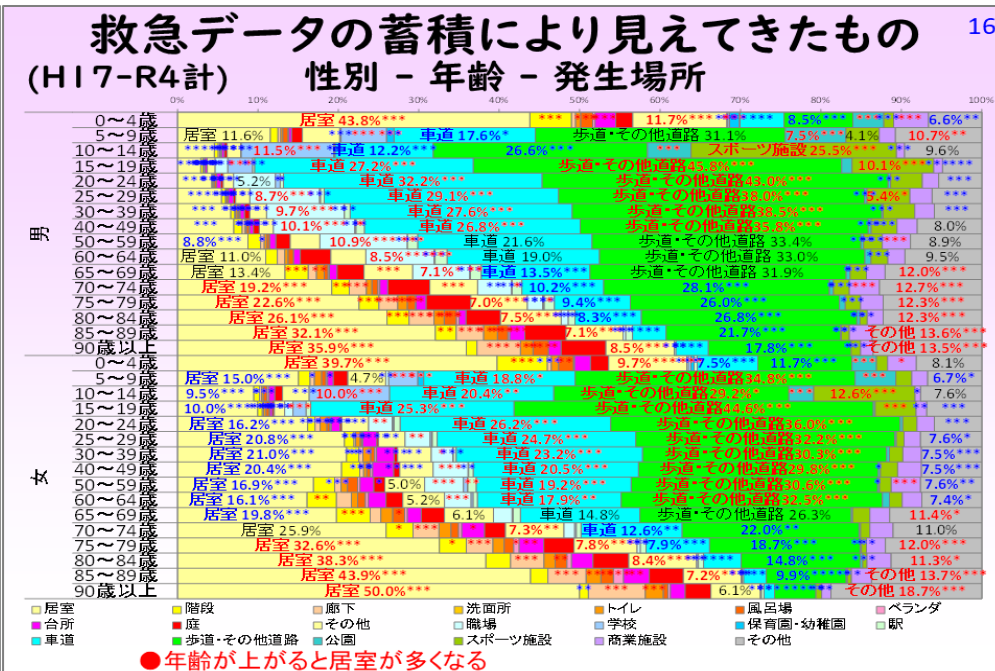
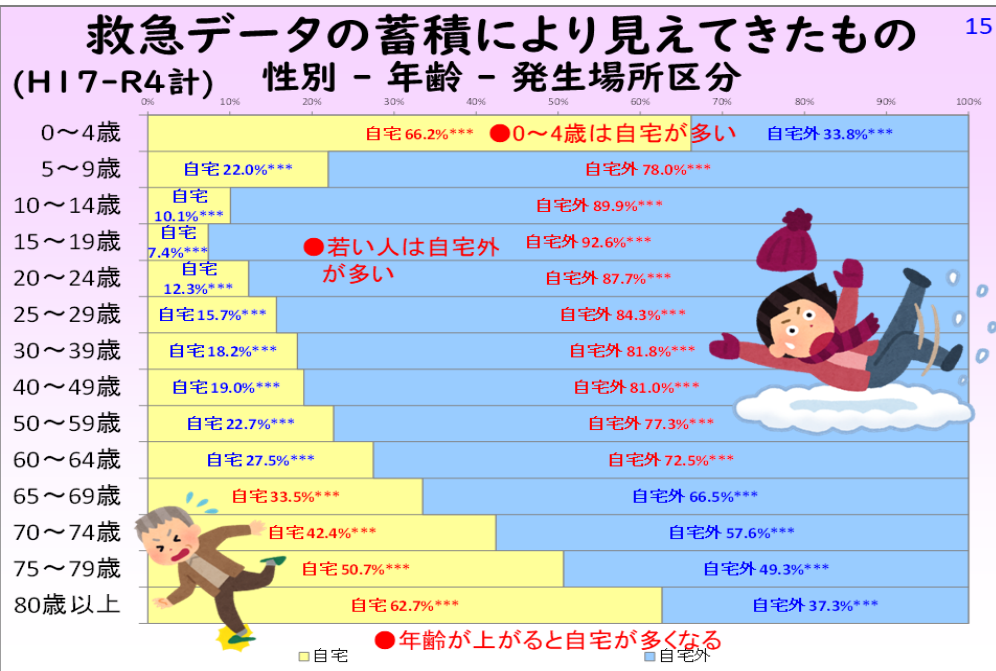
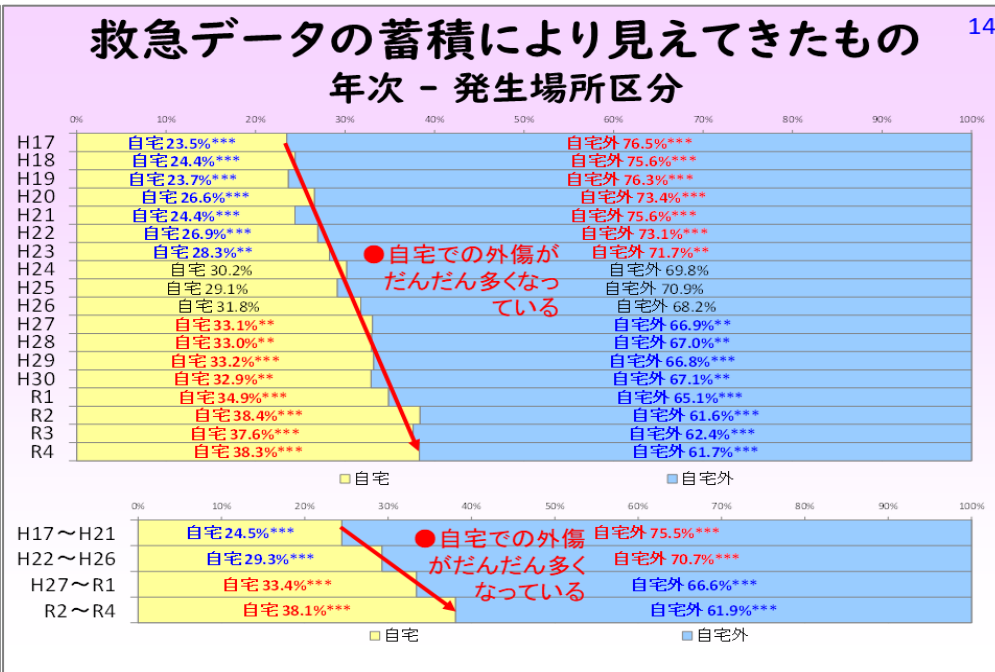
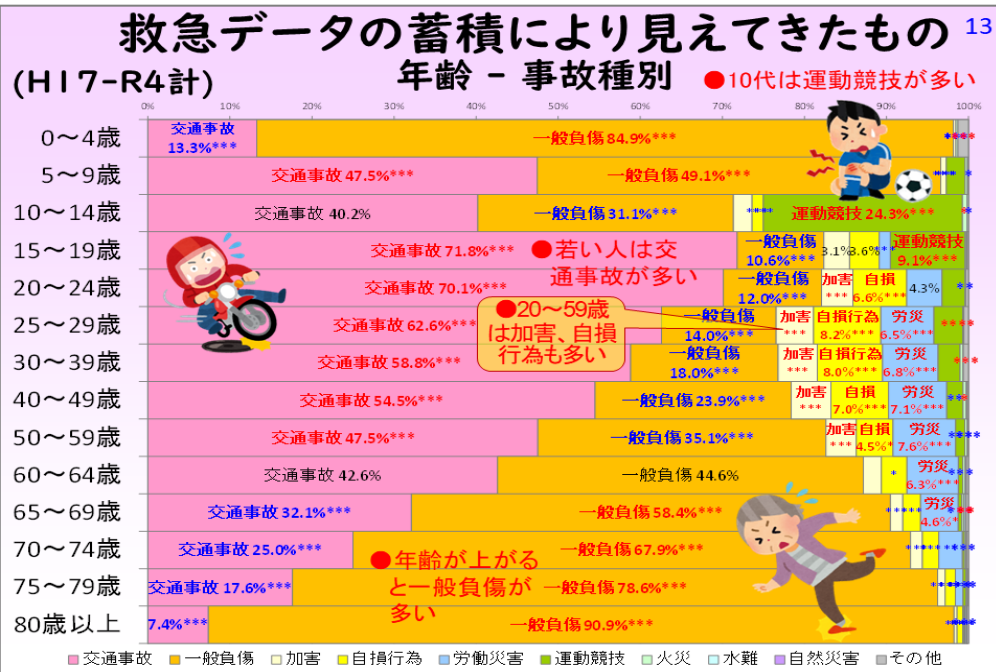
救急データの蓄積により見えてきたもの 年次 - 事故種別

12



●交通事故の割合がだんだん減っている

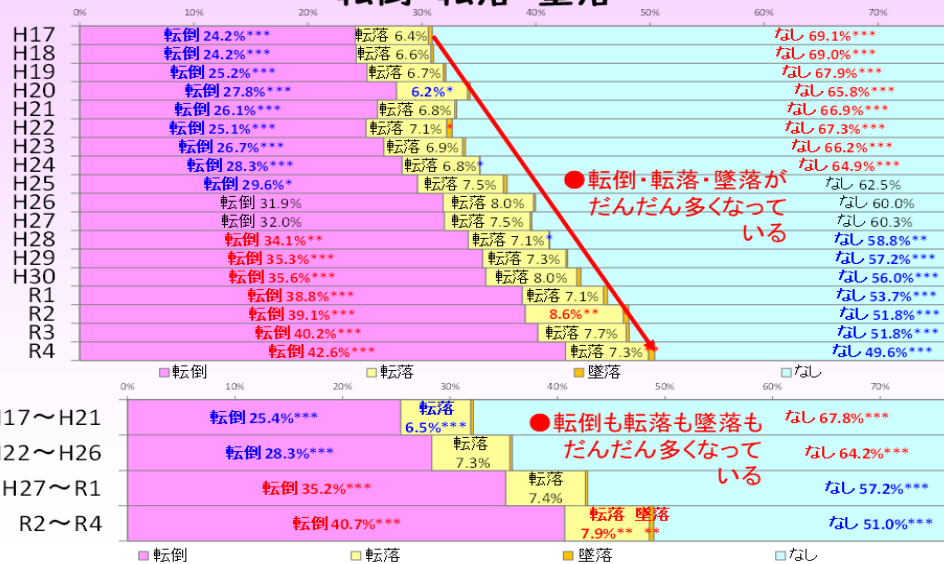




救急データの蓄積により見えてきたもの

転倒・転落・墜落

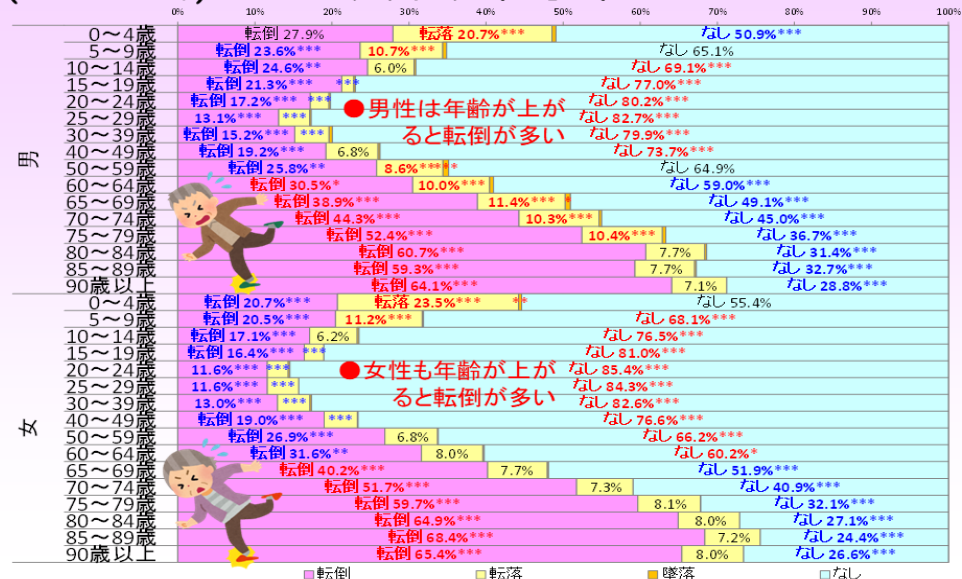
17



救急データの蓄積により見えてきたもの

転倒・転落・墜落

18



救急データの蓄積により見えてきたもの

転倒・転落・墜落

飲酒状況

19

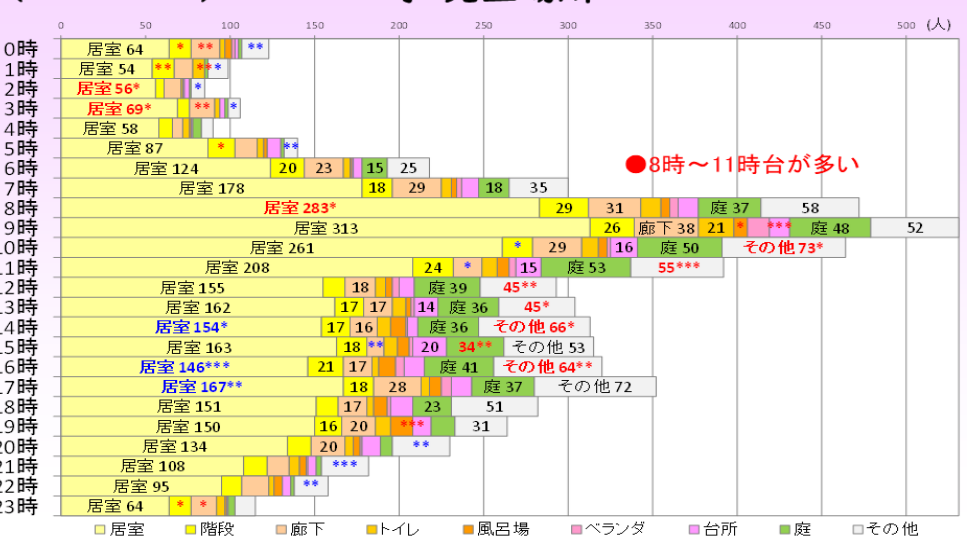


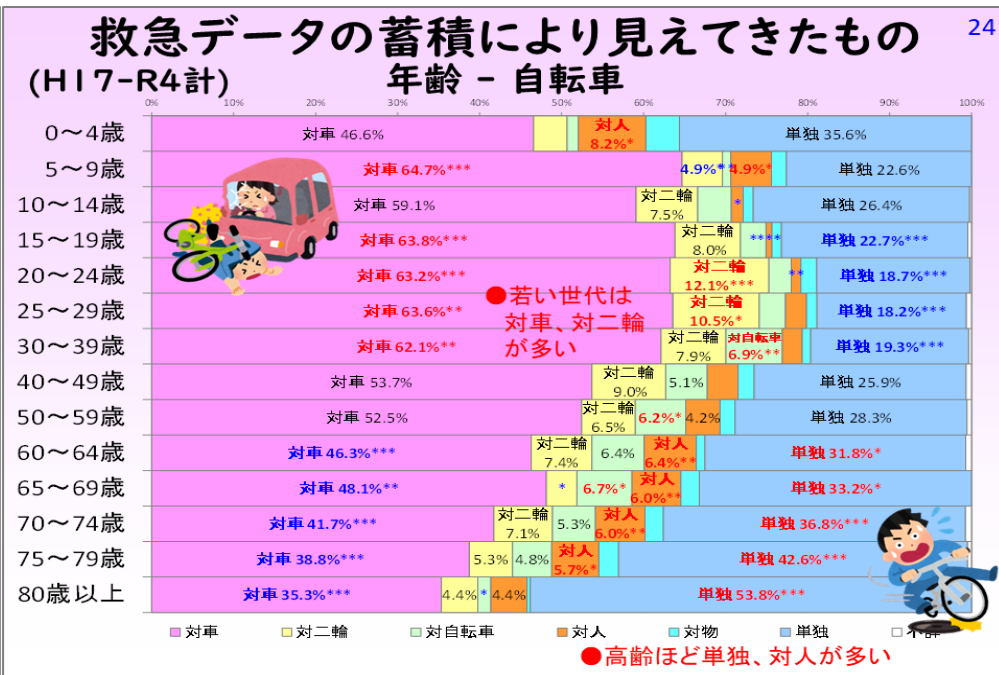
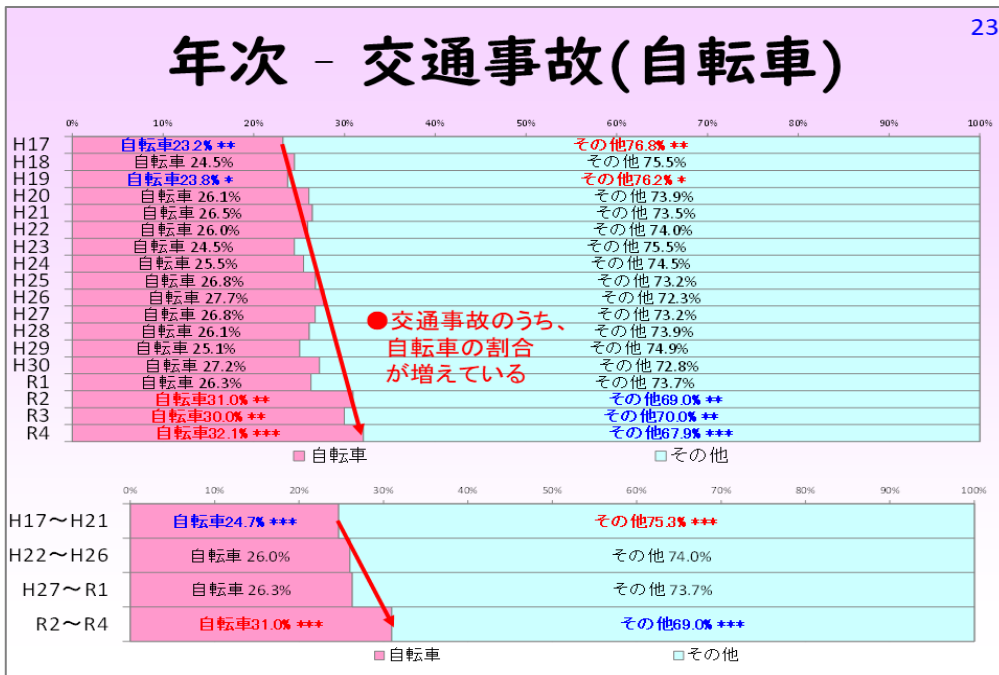
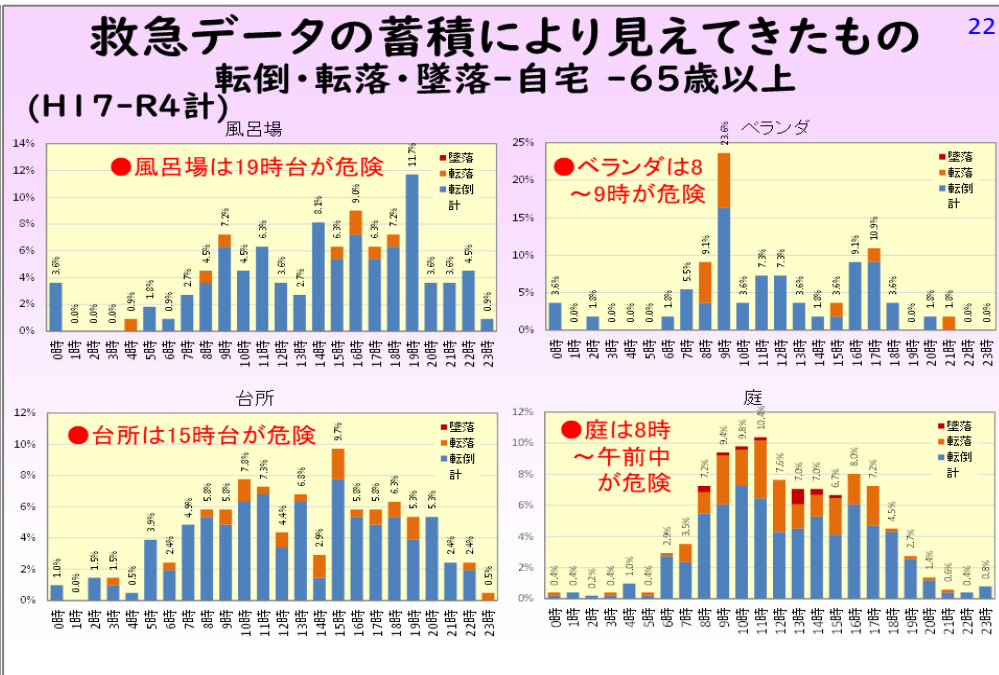
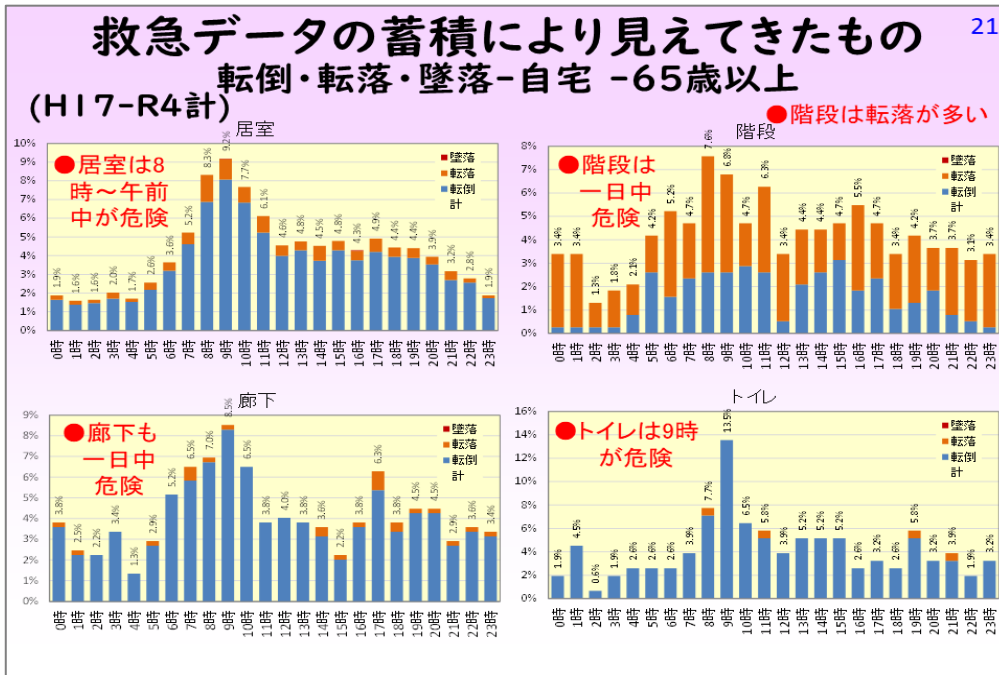
救急データの蓄積により見えてきたもの

転倒・転落・墜落-自宅 -65歳以上

時-発生場所

20





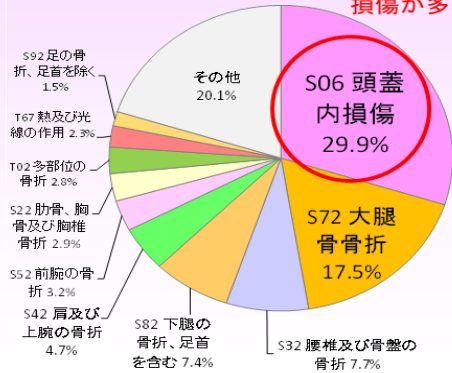
市立病院データの蓄積により見えてきたもの ²⁵

男女別・疾病別件数 (H20~R3合計)
(ICD2桁分類構成比・上位10位の疾患)

入院・65歳以上

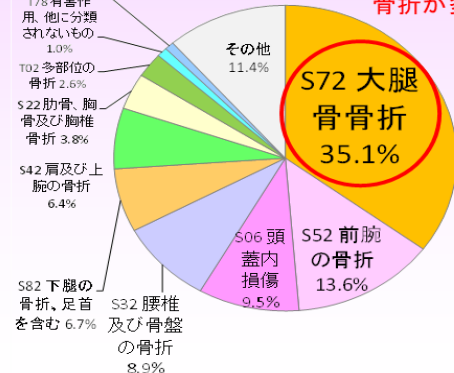
65歳以上・入院・男

●男性は頭蓋内損傷が多い

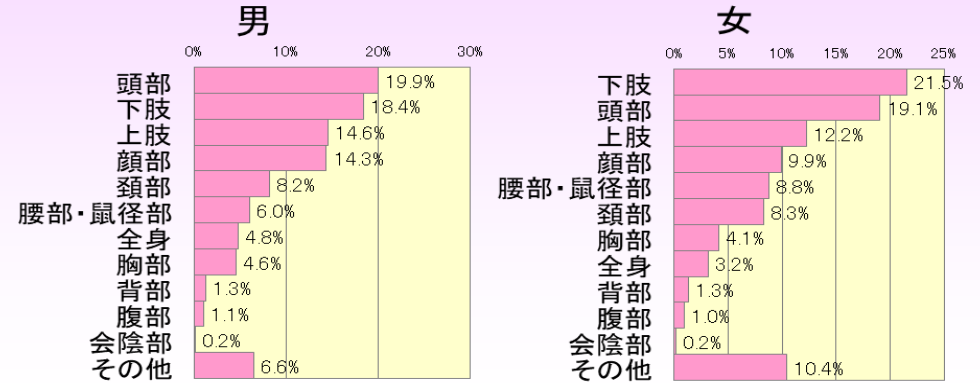
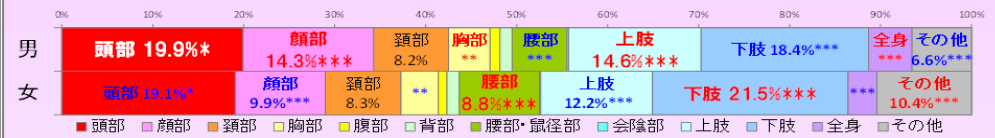


65歳以上・入院・女

●女性は大腿骨骨折が多い



救急データ 外傷部位 順位(H17-R4計) ²⁹



●救急データで見ても、男性は頭部、女性は下肢が多くなっています。

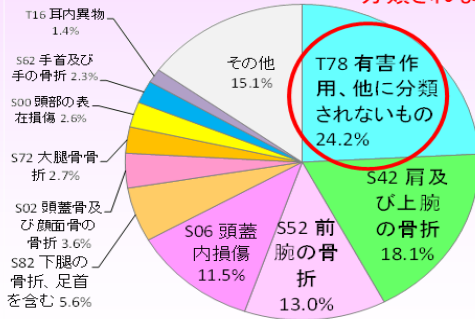
市立病院データの蓄積により見えてきたもの ³⁰

疾病別件数 (H20~R3合計)
(ICD2桁分類構成比・上位10位の疾患)

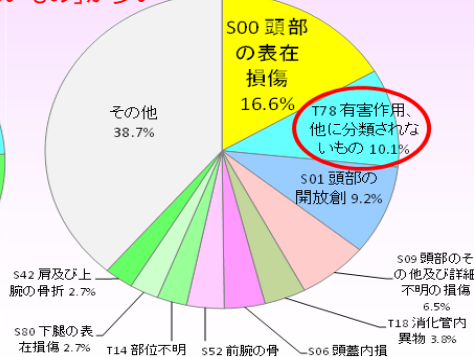
0~14歳

0~14歳・入院・計

●0~14歳は「有害作用、他に分類されないもの」が多い



0~14歳・外来・全



市立病院データの蓄積により見えてきたもの ³¹

「T78 有害作用、他に分類されないもの」とは？

●原因物質は、卵、牛乳が多い。

ICD	分類	入院	外来	原因物質
T780	有害食物反応によるアナフィラキシーショック	35	30	卵、牛乳、小麦、ピーナッツ、そば、大豆
T781	その他の有害食物反応、他に分類されないもの	200	1,257	
T782	アナフィラキシーショック、詳細不明	14	385	
T783	血管神経浮腫	0	2	
T784	アレルギー、詳細不明	1	25	ダニ
T788	その他の有害作用、他に分類されないもの	2	1	
T789	有害作用、詳細不明	0	0	

原因物質	入院	外来
卵	41	100
牛乳	23	53
小麦	4	12
ピーナッツ	4	10
そば	0	4
大豆	1	0
ダニ	2	7

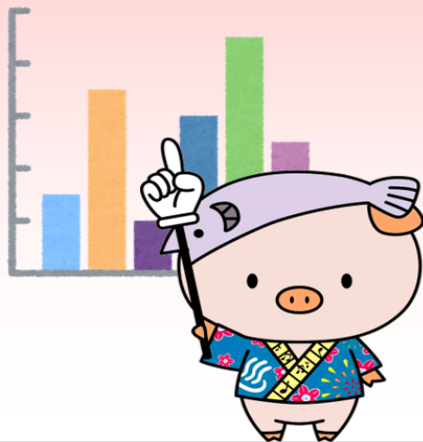
●「有害作用、他に分類されないもの」の内訳をみると、食物アレルギーが多い。



厚木市立病院 H20~R3 0~14歳

今後もデータを活用して
厚木セーフコミュニティ推進に
寄与したいと思います。

ご清聴ありがとう
ございました。



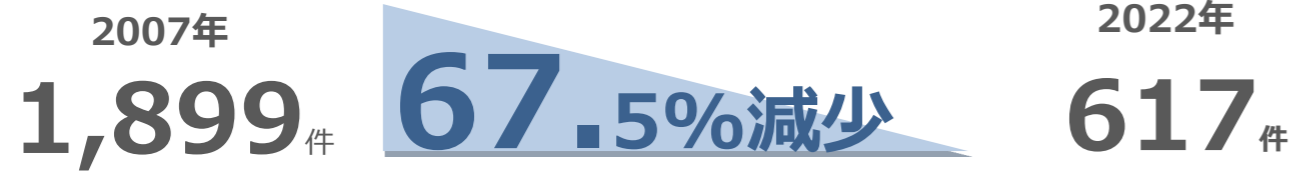
市民の皆様の取組成果

セーフコミュニティの取組を市民協働で続けてきた成果が表れてきています。

交通事故件数

出典 警察統計

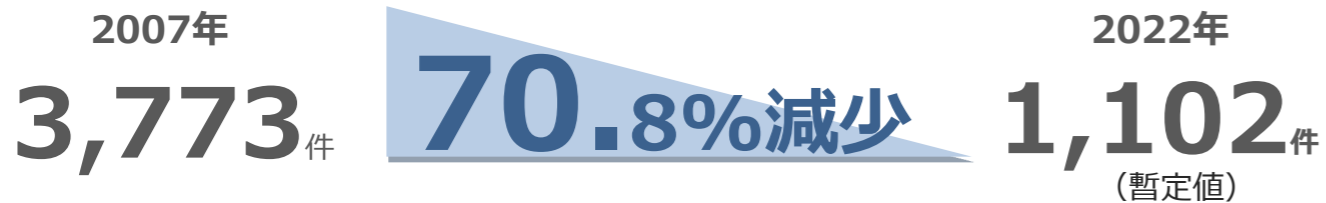
厚木市内で発生した外傷等を伴う交通事故件数



刑法犯認知件数

出典 警察統計

厚木市内で発生した刑法犯の認知件数



セーフコミュニティによるまちづくりの実感度

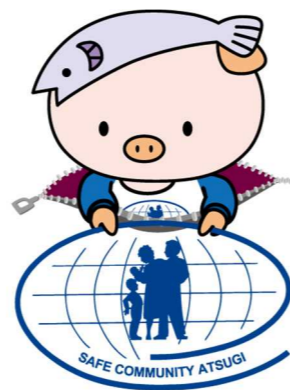
出典 市民実感度調査

健康で安心して安全に暮らせるまちづくりに対する市民の皆様の実感度



あゆみ

- 2008年1月 セーフコミュニティの取組を開始
- 2010年6月 現地審査を実施
- 2010年11月 国際認証を取得(国内で3番目に認証取得)
- 2012年10月 セーフコミュニティ推進条例を制定(国内初)
- 2015年11月 2度目の国際認証を取得
- 2018年11月 第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会を開催
- 2021年11月 3度目の国際認証を取得



あなたの活動が

セーフコミュニティ



ATSUGI

セーフコミュニティとは

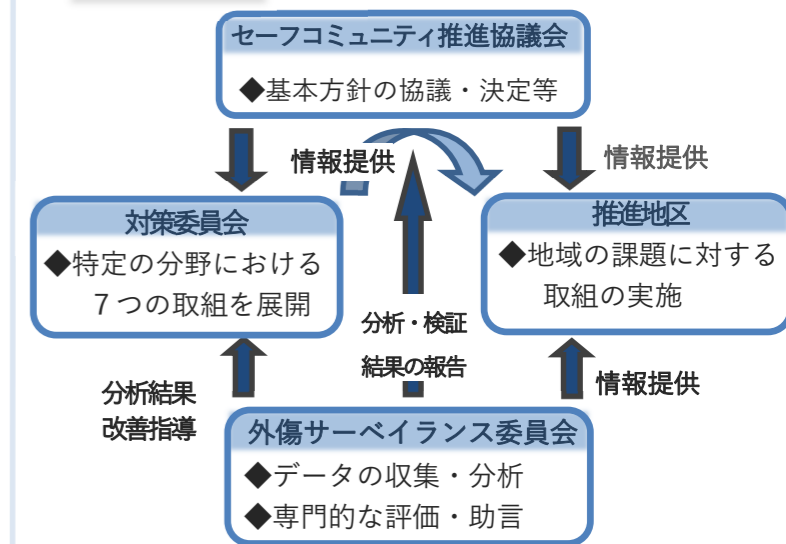
「事故やけがは、予防できる!」という考えから、安心して安全に暮らせるまちをみんなでつくろうという取組です。

HPはこちらから
セーフコミュニティ認証都市 あつぎ


厚木市セーフコミュニティ YouTube
事故やけがを防ぐための30秒のワンポイント動画を配信中!




推進体制



厚木市では7つの分野で取組を展開しています



交通安全




交通事故を減らすため、リスクの高い高齢者や事故発生の多い交差点への対策として、交通安全教室や民間交通監視所などの取組を進めています。


主な取組

- 交通安全教室
- 民間交通監視所
- 自転車ヘルメット着用運動

やってみようセーフコミュニティ 交通ルールを守り、事故を防止しよう！



体感治安と公共の場における安全




犯罪を未然に防ぐため、駅周辺のパトロールや青色回転灯搭載車（青パト）の活動を補助するなど、犯罪者を寄せ付けないまちづくりを推進しています。


主な取組

- 本厚木駅周辺パトロール
- 青色回転灯搭載車によるパトロール
- LED防犯灯設置事業

やってみようセーフコミュニティ 散歩をしながらパトロールをしよう！



防災




自然災害に備えるため、自助、共助、公助の役割を理解し、防災対策を進めることにより、「災害に強いまちづくり」を推進しています。


主な取組

- 防災訓練参加の促進
- 小中学校向け講話の実施
- オールハザードマップの全戸配布

やってみようセーフコミュニティ 水や食料を備蓄しよう！



子どもの安全




子どもを不審者から守るために、地域で子どもたちを見守る愛の目運動やかけこみポイントの設置など、地域が一丸となって取り組むことで、登下校時の子どもの安全を守っています。


主な取組

- 愛の目運動
- かけこみポイントの設置
- 危険予知トレーニング

やってみようセーフコミュニティ 登下校時に子どもの見守りをしよう！



自殺の予防




自殺を未然に防ぐため、ゲートキーパーの養成や街頭キャンペーンを実施し、家族をはじめとする身近な人の変化に気付き、助け合いのできる地域づくりを推進しています。


主な取組

- ゲートキーパーの養成
- 自殺対策キャンペーン
- 相談窓口一覧「こころ、元気ですか？」配布

やってみようセーフコミュニティ ひとりで悩まないで誰かに相談しよう！



高齢者の安全




高齢者の転倒など、不慮の事故によるけがを防ぐため、転倒予防のための運動活動や住宅改修工事の助成などを行っています。


主な取組

- 転倒予防のための運動活動・普及啓発
- セーフティ住宅支援事業（手すりの設置など）

やってみようセーフコミュニティ 毎日少しずつ運動をしよう！



職場の安全




職場の労働災害発生を防ぐため、企業と連携し、製造業や運輸業などを対象として、労務安全衛生研修を実施しています。


主な取組

- 安全衛生パトロール
- 中小企業向け研修会
- 体験型の労務安全研修

やってみようセーフコミュニティ 職場で整理整頓をしよう！



外傷サーベイランス



厚木市の外傷データの分析や検証を行っています。外傷データの分析結果は、対策委員会等に対し、情報提供しています。

主な活動

- 各種統計データの分析・検証
- 重点課題の抽出
- 対策委員会の活動支援

お風呂場
では…



- 一番風呂で脱衣所や浴室が
あたたまっていなかった。
- 熱めのお湯につかってしまった。
(温度差による急激な血圧の変動は危険です)

ヒートショックをおこさないために



- 湯はり時に浴室をあたためましょう。
- 湯温は41℃以下にしましょう。
- 湯につかる時間は10分までを
目安にしましょう。

いざというときのために

あつぎ健康相談ダイヤル24

0120-31-4156

市民の皆様限定サービス。
電話での健康相談と医療機関の情報提供
等を行っています。
24時間、年中無休、通話料無料。

セーフコミュニティあつぎ

セーフコミュニティとは

事故やけがは、偶然の結果ではなく予防
できるという理念の下、地域住民と行政等が
協働して「地域の誰もがいつまでも健康で安
心・安全に暮らせるまち」を創ろうという取
組です。

高齢者の安全対策委員会

高齢者の不慮の事故によるけがを防ぐた
め、転倒予防のための運動活動や住宅改修
工事の助成などを行っています。

- 転倒予防のための運動活動・普及啓発
- セーフティ住宅支援事業(手すりの設置など)

高齢者のための

安全のしおり

いつまでも元気であるために



厚木市セーフコミュニティ
高齢者の安全対策委員会

階段 では…



- 足を滑らせてしまった。
- 踏み外してしまった。
- 取り込んだ洗濯物で足元が見えなかった。

転落をしないために



- 手すりやすべり止めを設置しましょう。
- 照明などで足元を明るくし、足元をよく見て降りましょう。

居室 では…



- 敷居の段差に気付かなかった。
- 布団のすき間に足を入れてしまった。
- 廊下に落ちていた物でつまずいてしまった。

転倒をしないために



- 部屋の中の段差を解消しましょう。
- 通路に物を置かないようにしましょう。
- お風呂場にも手すりやすべり止めを設置しましょう。

食卓 では…



- 電話が鳴ったので慌てて飲み込んだ。
- パンを食べていて口の中が乾いてしまった。
(加齢により唾液の量が少なくなり、窒息する危険が高まっています)

窒息をしないために



- よく噛みましょう。
- 水分をとりながら食事をとりましょう。
- 食材は小さく切って食べましょう。